

たより向いて教る人を折教しそ冠そに
人を層よりて歸る。西東より頻良そ子安
東左衛門良後と頼時と改自安部將軍と
稱し。美羽二君を押成し八男二女有嫡子
日升ハ盲目之次男安部左衛門良宗之男厨
川江邦貞任に男多海路之邦宗任以下之
と云く。按よりに安日は人部武記り。是くも。東家安部
と云し。ハ新明記より見へ。傳も。思荷の末より
小麻呂を番所と云く。人なる。故に思荷と
云く。もや。又ハ思荷の番所と云く。西家

ハ小麻呂と云く。号し。り。もや。新明記ハ思
荷を淳代津江二郡の郡領と云く。れ。一。事
お件ハ記し。傳も。安倍家傳に安部東は
追放せられ。津江より。一。濱安部浦を領し
る。也。一。威。一。秋田城外。安部を代りて。秋
田を領せられ。姓ハ阿倍より。一。て。安部乃親
也。季と云く。安部を名とせり。是を以彼家ハ
思荷の末なりとたぬ。一。事。之。又。案より。に
男麻の少浦といふ。ハ東浦と對し。一。事。名ハ
や。